

白石医師のプロフィール

専門分野

スポーツ医学・スポーツ整形外科・運動器リハビリテーション・膝関節外科

資格等

医学博士
日本整形外科学会
専門医・認定スポーツ医・認定運動器リハビリテーション医
日本体育協会公認スポーツドクター
日本医師会認定健康スポーツ医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本臨床スポーツ医学会評議員
日本体力医学会学術委員会委員

職歴等

昭和59年：熊本大学医学部卒業、同大学附属病院整形外科勤務
平成11年：Jリーグ名古屋グランパスエイト専属チームドクター
平成15年：東京慈恵会医科大学スポーツウェルネスクリニック勤務（講師）
平成15年：日本オリンピック委員会強化スタッフ（医科学）
平成15年～：国立スポーツ科学センター（JISS）非常勤医師
平成15～16年：名古屋グランパスエイト育成部チームドクター
平成15～18年：サッカー日本代表（ジーコジャパン）チームドクター
平成16年～：J1リーグ柏レイソルチームドクター
平成17年～：J2リーグロアッソ熊本メディカルディレクター
平成18年：熊本大学医学部整形外科非常勤講師
平成19～21年：Fリーグバルドラール浦安チームドクター
平成21年：東京慈恵会医科大学整形外科非常勤講師
平成21年～：八王子スポーツ整形外科勤務（スポーツ診療部長）
平成21年～：Fリーグ府中アスレチックスチームドクター
平成21～23年：フットサル日本代表チームドクター
平成23～25年：柏レイソル常勤チームドクター

その他、長らく日本サッカー協会スポーツ医学委員の要職に就き、1980年代の女子サッカー日本代表（現なでしこジャパン）チームドクター、フットサル部門、育成部門（JFAアカデミー熊本宇城）などを担当し、幅広い年代の代表チームのサポートやFリーグ関連の医療環境の充実を目指し尽力。

また、日本における「スポーツ現場での医療」を充実させるべく、「サッカーメディカルの国際基準」を探求して、これまで世界中のサッカー強豪国（クラブ）の医療現場での研修を重ねてきた。

- スペイン
FCバルセロナ・アスレチックビルバオ・セビージャ
 - イタリア
ASローマ・インテル・ACミラン・ユベントス
 - ポルトガル
FCポルト
 - イングランド
アーセナル・リバプール・チェルシー・ボルトン
 - ドイツ
バイエルン・ドルトムント・シャルケ04・ブレーメン
 - フランス
リヨン・モナコ
 - オランダ
フェイエノールト・アヤックス
 - ブラジル
サンパウロFC・フラメンゴ・コリンチャンス・パスコダガマ
 - アルゼンチン
ボカジュニアーズ・リバープレート
 - スイス
FCバーゼル
 - ギリシア
オリンピアコス
- など

趣味はサッカーで、自身も豊富なサッカー経験を有する
現在でも“現役サッカー選手”として、全国のシニアサッカークラブとの関わりをもち、幅広い背景のサッカーを楽しんでいる